

南山大学のキャリア支援について

キャリア形成の必要性和支援制度

南山大学では、学生の社会的・職業的自立のために必要な知識、技能、態度を育むことを目的とした様々な支援を行っている。

○キャリア形成の必要性

社会的・職業的自立のためには、①自らの将来・人生をおおまかにでもしっかり設計できる能力（キャリア設計能力）を備え、②社会の中で自分が何を實現しようとするのか、職業をどのように考えるのか（キャリア・職業観）、③自分は何の道を進むのか（キャリア・職業選択）、④そのために何をすべきか、準備しておくのか（職業・専門能力）、などを明らかにしておく必要がある。

こうしたことは、授業の中だけでなく、クラブ活動などの課外活動、さらには学外での様々な経験を通じ、身につけ、また考えることができる。そこで、本学では、授業以外に多くのキャリア支援制度を設け、学生の社会的・職業的自立を支援している。

○キャリア形成の支援制度

本学のキャリア支援は、「教育課程・グループ指導」によって行われるものと、窓口相談等「個別支援・指導」によって行われるものに分けられる。また、前者には、次の4つの形態がある。

第1は、就職を含む今後のキャリアを考えることを目的とした支援制度（キャリアサポートプログラム・就職支援プログラム）であり、第2は、一般的な職業観・勤労観の育成、または専門教育の実地学習を目的とし、就業体験を行う教育プログラム（インターンシップ）である。これら2つは主としてキャリア支援室によって運営されている。

これに対して、第3は、各学部・学科・研究科において行われる教育で、特にキャリアの視点から授業内容が構成されている科目（各学部のキャリア科目）がある。なお、学校の教員や博物館学芸員、司書などを目指す場合には、資格（職業）の要件として、単位の取得が必要となる。本学では、これらの職業を目指す学生に対して、教職課程、博物館学芸員養成課程、司書課程および学校図書館司書教諭課程を設けて支援している。第4に、既に進路や希望する職業（就職先等）が選択されている学生を支援の対象とし、資格取得や受験準備を支援するもの（法職特別課外講座、会計士講座、エクステンション・カレッジ学生向け特別講座・公開講座）がある。詳細は、担当の窓口等で確認すること。

○進路希望調査

本学では、学生支援の一環として『進路希望調査』を実施している。この調査は、一人ひとりの進路希望に沿った情報提供や進路相談に役立てることを目的としている。毎年2回の調査時点での進路希望を回答すること。

<担当窓口等>

	支援内容	窓口等	冊子・Web等
教育課程・グループ指導	キャリアサポートプログラム、就職支援プログラム	キャリア支援室	キャリアサポートガイド
	インターンシップ	キャリア支援室	キャリアサポートガイド、講義概要
	各学部のキャリア科目	キャリア支援室 ※履修登録に関することは教務課	講義概要
	教職課程	教務課	講義概要
	博物館学芸員養成課程		
	司書課程・学校図書館司書教諭課程	法学部事務室 経営学部事務室	講義概要
	法職特別課外講座		
会計士講座	南山エクステンション・カレッジ事務室	講座案内パンフレット	
個別支援・指導	留学	国際教育センター事務室	
	大学院進学	指導教員 入試課	入学試験要項
	就職・キャリア相談	キャリア支援室	
	学習等	指導教員	
その他	アルバイト・ボランティア・課外活動	学生課	

キャリア形成の支援制度（教育課程・グループ指導）

I. キャリアサポートプログラム・就職支援プログラム [窓口：キャリア支援室]

社会環境が大きく変化する中、社会へのスタートラインに立つ若者には、いままで以上に個人が問われ、自らキャリアを切り拓くことができる"自立型人材"が求められている。本学のキャリア支援室では、低年次から卒業まで学生のキャリア形成支援をサポートしている。

(i) キャリアサポートプログラム [窓口：キャリア支援室]

入学後の早い段階から、将来の夢や目標を持つきっかけを提供し、社会で働き自立することの意義を考えるためのプログラム。「自らが選択すること」をベースにした自己形成の場を提供し、夢への挑戦をサポートする。

プログラム名	目的・内容	標準参加 推奨年次	講師	日程
新入生サポート	新入生対象プログラム。学生生活とその後のキャリアのつながりを考える。			
キャリアサポートガイダンス	大学生活における諸活動やキャリア支援体制等を紹介する。学生自身が大学生活（まずは1年間）の目標を設定する。	1年次	キャリアサポート委員会 委員長	4月
学科別学び方講座	各学科の担当教員が授業の進め方、卒業後の進路等を説明する。学生は自らの目標達成のための具体的な課題設定を行う。	1年次	学科教員	4月
キャリアプランニング プログラム	進路希望調査に基づく、希望進路別ガイダンス。希望進路の実現に向け具体的に何をすべきかを学ぶ。 ※以下以外にも、卒業生キャリア・アドバイザー等と調整し、様々なテーマや希望進路別のプログラムを数種類開催する。			
希望進路別ガイダンス (民間就職・公務員・進学)	民間就職希望者、公務員希望者、大学院進学希望者それぞれに対し、本学の実績や希望進路実現に向けて実践すべきことなどを伝える。	2年次	外部講師 または学内講師	4月
希望進路別ガイダンス (エアライン・マスコミほか)	エアラインやマスコミなど、特定の業界を目指す学生を対象としたプログラム。業界の動向や採用選考の特徴、必要な準備などを学ぶ。	2年次	外部講師	10月
テーマ別ワークショップ	「海外と関わる仕事」「モノづくりに関わる仕事」などテーマごとに必要な能力・資質とは何かを自ら考え、ワークを通じて在学中の経験等から養える力があることに気づく。また、「社会人基礎力」育成をテーマとし、社会で必要とされる力とは何か、それはどのように身に付けられるのかを考える。講座中のワークにより、自ら考え、アウトプットする力を養う。	2年次	卒業生キャリア・アドバイザー、 外部講師など	10月・11月
キャリア入門	卒業生などから実社会の現状を学び、社会で活躍することをイメージするプログラム。			
卒業生に聞いてみよう！	各業界で活躍する若手社員を招き、仕事や学生生活、就職活動の体験談などを聞く。複数業界の先輩から話を聞くことで、職業理解を深める。	2年次	卒業生キャリア・アドバイザー など	6月
キャリアデザイン講演会	社会人による講演を通じて「大学で学ぶことと社会で働くことがどのようにつながるか」をイメージする。	2年次	外部講師 または学内講師	6月
キャリアを考えよう	実社会で活躍する外部講師による講演や学部教員の講義により、卒業後のキャリア形成や大学生活の過ごし方などを学ぶ。	2年次	外部講師 または学部教員	原則として 10月～11月
南山大学卒業生キャリア・ アドバイザーとの交流会	複数名のキャリア・アドバイザーを迎え、個別懇談等を通じて、多種多様な仕事や働き方があることを知る。	3年次	卒業生キャリア・アドバイザー など	2月
業界・職種研究会	各業界を代表する企業から卒業生などを講師として招く連続講座。業界全般の特徴や今後の展望などを学ぶ。	3年次	外部講師	12月～ 2月
インターンシップサポート	(自己啓発型)インターンシップ参加希望者対象ガイダンス。			
インターンシップ説明会	インターンシップの意義、参加までの流れ等を学ぶ。	3年次	外部講師、 キャリア支援室スタッフなど	5月
事例紹介	インターンシップ受入企業を数機関招き、プログラム内容等に関する説明を聞くことで具体的な理解を深める。	3年次	外部講師	6月
自己理解・業界研究	インターンシップ受入企業へのエントリーに向け、自己PRや応募動機の基礎となる自己理解および業界研究の方法等を学ぶ。	3年次	外部講師	6月
ビジネスマナー	インターンシップや社会人生活のためのビジネスマナーの基礎を学ぶ。	3年次	外部講師	6月

名古屋銀行との連携協定プログラム	名古屋銀行との人財育成に関わる連携協定に基づいて実施する、PBL(問題解決型学習)プログラム。			
就業体験型プログラム (長期有償型インターンシップ)	ビジネスマナー、銀行用語の事前研修を経て、実際に営業店にてロビーマネージャー(お客様案内係)として勤務する。	3年次	名古屋銀行行員	5~7月、 9~11月、 1~3月
企画体験型プログラム (新規サービスモニター)	名古屋銀行のサービスについて、消費者の立場からよりよいサービスとするための改善案からプロモーションまでの企画を立案する。	3年次	名古屋銀行行員	5~12月
営業体験型プログラム (講義&フィールドワーク)	講義にて営業職の基本やマインドを学び、ロールプレイングやフィールドワークを通して実際の銀行営業を模擬体験する。	3年次	名古屋銀行行員	5~7月、 10~12月

※実施日程・場所等の詳細は、随時 PORTA にて告知予定。

(ii) 就職支援プログラム [窓口：キャリア支援室]

ガイダンスや各種講座、学内会社説明会などを実施し、就職活動をバックアップするプログラム。

就職ガイダンス (全3回/5月・9月・1月、文理別)	就職活動全般のオリエンテーションから始まり、就職活動の現状、南山大学の採用実績、PORTA 等から提供される就職情報の活用方法などを説明する。
就職講座 (9月~12月、文理別)	就職活動に不可欠な要素をテーマ別に開講する。 <2017年度テーマ(予定)> 【文系】筆記試験対策/自己理解・自己PR/業界・職種研究/企業研究/志望動機・エントリーシートの書き方/GW・GDのポイント/ビジネスマナー・面接対策/先輩の体験談 【理系】筆記試験対策/自己理解・自己PR/業界研究・企業研究/志望動機・エントリーシートの書き方/面接対策/グループディスカッション対策
学内会社説明会(3月)	学内において南山生を対象とした会社説明会を開催する。
筆記試験対策	Web を利用したプログラム(有料・1年間自宅から何度でも受験可能)の案内や SPI 模試(有料)を実施している。
公務員試験対策	公務員希望者のための支援を実施する。 ・公務員ガイダンス ・公務員模試(有料)
4年生向講座 (対象：学部4年生、短大部2年生、 修士2年生など)	就職活動中の南山生を対象とした講座および学内会社説明会を実施する。 <2017年度実施プログラム(予定)> 一般職の就職活動/優良中堅・中小企業の探し方/社会人準備セミナー/学内会社説明会(帰国留学生対象)

※ この他、「障がいのある学生のためのキャリアガイダンス」、「海外留学生就職ガイダンス」、「外国人留学生ガイダンス」、「Uターンガイダンス」等の特定対象者向けのプログラムも実施。

II. インターンシップ [窓口：キャリア支援室]

インターンシップは、学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行う教育プログラムである。職業への意識を高め、自分の適性を知るという点で大きな意義をもつ制度、次の2種類をサポートしている。

インターンシップ研修 I インターンシップ研修 II 〔共通教育科目・各1単位〕 授業コード：14B01-001, 002 14B02-001 学年：2~4年次	共通教育科目として開講しており、2016年度は約180名の学生が受入機関での実地研修を行った。履修にあたっては、事前履修説明会の内容を十分理解すること。 授業は、春学期に事前研修としてオリエンテーション、エントリーシートの書き方、自己分析・業界研究、グループワーク1(志望動機)、グループワーク2(ロジカルシンキング)、コミュニケーション入門、ビジネスマナー1(接遇マナー)、ビジネスマナー2(電話応対マナー)、PC研修(パワーポイント)、PC研修(ワード)、プレゼンテーション研修を行う。夏季休暇中に企業等でのインターンシップ(1~2週間程度)に参加し、秋学期にはインターンシップ報告会およびまとめ研修からなる事後研修を行う。 ※詳細は講義概要の「インターンシップ研修 I」、「インターンシップ研修 II」を参照
自己啓発型インターンシップ 学年：全学年	単位取得とは関係なく、自分で受入先を開拓して行うインターンシップ。インターンシップガイダンス(5月)では、インターンシップ情報の入手方法や学内手続き等を説明する。加えて、外部講師による自己理解・業界研究やビジネスマナー講座を実施する。また、必要に応じて受入機関との覚書締結やインターンシップ賠償責任保険の加入等をサポートする。 ※2015年度より、株式会社名古屋銀行と「人材育成に関わる連携協定」を締結し、協定に基づくプログラムの1つとして「長期有償型インターンシップ」を実施。

Ⅲ. 各学部のキャリア科目

[窓口：キャリア支援室 ※履修登録に関することは教務課]

各学部学科では、社会的・職業的自立に向け、必要な知識、技能、態度をはぐくむ科目を開講している。

※詳細は講義概要の当該科目欄を参照

学部等	授業コード	科目名	補足事項等
共通教育委員会	14B01-001, 002	インターンシップ研修Ⅰ	
	14B02-001	インターンシップ研修Ⅱ	
	14B03-001	マスメディア論A(新聞)	朝日新聞社から講師を派遣
	14B04-001	マスメディア論B(放送)	名古屋テレビ放送から講師を派遣
	14B05-001	マスメディア論C(放送)	中京テレビ放送から講師を派遣
人文学部	20A07-001	人文学とキャリア形成	
外国語学部	30A01-001	キャリアデザイン	1～3年次生対象学部共通科目
経済学部	40E01-001	仕事とキャリアの形成	
	40E02-001	自己とキャリアの形成	
	40E03-001	企業と業界の研究1	
	40E03-002	企業と業界の研究2	
経営学部	42F08-001	現代産業論(先輩実務家と語る)1	
	42F08-002	現代産業論(先輩実務家と語る)2	
	42F09-001	職業指導	
法学部	44A01-001～017	ベーシック演習A	1回をキャリア科目と位置付ける
	44A04-001～017	ベーシック演習D	1回をキャリア科目と位置付ける
	44B01-002～025 *001,011,024欠番	ミドル演習A	1回をキャリア科目と位置付ける
	44B02-002～025 *001,011,024欠番	ミドル演習B	1回をキャリア科目と位置付ける
	44B86-001	法務研究A	資格取得希望者向け
	44B87-001	法務研究B	
	44B88-001	法務研究C	
総合政策学部	46E07-001	数量的アプローチ1	
	46E07-002	数量的アプローチ2	
	46D04-001	産業心理学	
	46D07-001	社会学概論	
	46D13-001	経営学概論	
	46G01-001	政策の現場からA	
	46K05-001	組織行動論	
	46A02-001～014	総合政策基礎演習A	
	46A04-001～014	総合政策基礎演習C	
理工学部	50A01-001～006	理工学基礎演習	理工・情報理工学部生対象
	50A02-001	理工学概論[SS]	
	53B01-001	システム理論	
	77358-001	ソフトウェア工学特別講義	
情報理工学部	73321-001	情報理工学特別講義A(ソフトウェア工学)	
	73211-001	システム理論	
国際教養学部	48A03-001	キャリアデザインⅠ	
	48A04-001	キャリアデザインⅡ	
短期大学部	17591-001	アカデミックスキルA	「キャリアデザイン科目群」として開講している。短期大学部には就職をめざす学生と進学(編入)をめざす学生とがいるので、キャリアデザインにおいて両者に対応する科目を設置している。
	17593-001	アカデミックスキルB	
	17595-001	翻訳・通訳演習A	
	17597-001	翻訳・通訳演習B	
	17599-001	日本語教育入門	
	17603-001, 002	小集団リーダーシップ1、2	Career Planning というテーマで半期3～4回授業を行なっている
	17041-001～007	ラーニング・コミュニティⅢ	
	17046-001～007	ラーニング・コミュニティⅣ	

IV. 教職課程、博物館学芸員養成課程、司書課程、学校図書館司書教諭課程 [窓口：教務課・教職センター]

学校の教員や学芸員、図書館司書などを目指す学生のために教職課程、博物館学芸員養成課程、司書課程および学校図書館司書教諭課程があり、一部の学部を除いて履修可能である。これらの職業では、各課程で単位を取得し、資格を有することが採用の条件となる。教職課程については、1年次の春に新入生対象教職課程ガイダンスを開くが、相談は上記窓口で随時行っている。教職関連科目は、1年次から履修することが望ましい。

※詳細は冊子「授業科目履修案内（教職課程）」、および冊子「授業科目履修案内（履修要項）」の【資格】のページを参照

V. 法職特別課外講座、会計士講座、エクステンション・カレッジ学生向け特別講座・公開講座

(i) 法職特別課外講座 [窓口：法学部事務室]

公務員試験、法科大学院等に照準を合わせた対策講座で、毎年100名ほどの学生が参加している。法学部・法科大学院の教員や実務経験豊富な弁護士・現役司法書士等が指導にあたる。憲法、民法、刑法の主要3科目にはベーシックコースがそれぞれ用意されている。法学部以外の学生の受講も可能である。

※詳細は講義概要、法学部発行「めざせ！スペシャリスト - 法職特別講座案内（募集要項）」、法学部 Web ページ (<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/HOUGAKU/shinro/koza.html>) を参照

(ii) 会計士講座 [窓口：経営学部事務室]

会計士講座は、公認会計士や税理士などの資格試験を目指す学生はもちろん、会計を深く学びたいと考えているすべての学生に開かれた団体である。学生たちは、自主的に集まり、教員や先輩の指導を受けつつ情報交換や勉強会、試験前合宿などを行っているほか、本学教員および会計士講座OBとの交流会も実施している。また、キャンパス内に講座室があり、運営資金の一部について大学より援助を受けるなど、サポート体制も整っている。

※詳細は講義概要を参照

(iii) 南山エクステンション・カレッジ学生向け特別講座 [窓口：南山エクステンション・カレッジ事務室]

社会が大学の卒業生に期待する知的・技能的な水準は年々高まっている。本学の学生が在学中にスキルやキャリアアップを図るための特別講座として、①公務員試験対策講座（総合コース）、②公務員試験対策講座（教養コース）、③教員採用試験対策講座（基礎コース）、④秘書検定準1級対策講座、⑤エアライン就職対策講座を開講している。2016年度の受講生数は5講座236名。南山エクステンション・カレッジにおける講座の特徴は、①低廉な受講料（受講料を専門学校等より低く設定し負担を軽減）、②キャンパス内での受講、③ハイレベルなノウハウを持つ講師陣（実績のある専門機関の講師による直接指導）である。

このほかに、日商簿記3級検定試験対策講座および3級ファイナンシャル・プランニング技能士検定試験対策講座などを南山エクステンション・カレッジ公開講座として開講している。

※詳細は南山エクステンション・カレッジ Web ページ (<http://office.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/>) を参照。

キャリア形成の支援制度（個別支援・指導）

I. 留学、大学院進学

(i) 留学 [窓口：国際センター事務室]

本学には、学部を問わず留学できるプログラムが整っている。留学先大学で修得した単位のうち、上限30単位まで本学での単位として認定申請できるほか、留学期間も在学期間に算入するため4年間で大学を卒業することが可能である。ただし、留学する目的をはっきりさせ、計画・準備を早めに行うことが重要である。短期留学プログラムでの語学研修や異文化体験を通じて海外への視野を広げる機会も増えている。

(ii) 大学院 [入試に関する窓口：入試課、履修内容に関する窓口：各研究科事務室]

本学大学院は学部における教育の基礎の上に、高度にして専門的な学術の理論および応用を研究し、その深奥を究めると共に、

キリスト教世界観に立ち、人間の尊厳を自覚した社会人として、文化の進展と人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的としている。

本学大学院には修士課程、博士課程および専門職学位課程が設置されている。修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または、高度の専門性を要する職業に必要な高度の能力を養うことを目的とする。博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。博士課程の標準修業年限を5年とし、これを前期2年および後期3年の課程に区分している。前期2年を博士前期課程といい、後期3年を博士後期課程という。前期2年の課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。専門職学位課程は、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識および卓越した能力を培うことを目的とする。修了後は、より高度な研究を進めるため、研究者として進むことができることはもちろん、高度の専門職業人として、各方面から期待が寄せられている。

<推薦入学審査について>

卒業後の進路選択のひとつとして大学院進学がある。本学大学院では、在学生に対し、推薦入学審査を実施している。

※詳細は入学試験要項を参照。

II. 就職・キャリア相談 [窓口：キャリア支援室]

年間通じて、就職・キャリアに関する相談を受け付けている（予約不要）。キャリアカウンセラーやスタッフが進路に関する不安や悩み、就職活動における自己分析・企業研究・筆記試験や面接に関する疑問など、各種相談に応じる。インターンシップや求人に関する情報提供、OB・OG訪問のための卒業生名簿貸し出しなども行っている。低年次から利用可能である。